大阪市現代芸術振興事業
Breaker Project

「アートを・育む・まち」—何が未来を耕すのか…？

2023年3月18日[土]
14:00–16:30

大阪中之島美術館 1F ワークショップルーム

ゲスト 黒澤 伸
（公財）金沢芸術創造財団 芸術・交流アドバイザー／アーツカウンシル金沢統括ディレクター／金沢市民芸術村総合ディレクター

進行 雨森 信
Breaker Project ディレクター

トーク／ディスカッション

「アートを・育む・まち」何が未来を耕すのか…？

《文化的土壌の形成に向けて》

各地で開催されるようになった芸術祭やアートプロジェクト、また美術館で行われる教育プログラムやアウトリーチ事業が、特定のアートファンだけではない人々へもアプローチし、社会との新たな回路を生み出しつつあります。プログラム/プロジェクトに参加する人が得た何かしらの発見や経験が蓄積し、フィードバックされ、それぞれの気づきや変化が周りへと連鎖、地域における文化的土壌の形成へとつながっていくことが期待されています。一方、実践の積み重ねが必要不可欠であるにもかかわらず、継続していくことの難しさを抱えている現場も少なくないはずです。

2003年よりアーティストと共に創造の現場を日常の中につくってきたブレーカープロジェクトでは、予期せぬ出会いを誘発したり、私たち一人ひとりに潜在する創造性やまちの資源、課題を掘り起こしたり、福祉や教育、まちづくりなど他領域とのネットワークを形成してきましたが、「アートだからこそできること」を原点に戻って考えてみる必要性も感じています。

現在ではあたりまえのように実施されるワークショップやアートプロジェクトですが、今回のトークでは、そういった取り組みの先駆けとなった水戸芸術館や金沢21世紀美術館に立ち上げから関わり、アートを介して多くの人々が関わる仕掛け/しくみづくりに取り組んできた黒澤伸氏をゲストにお迎えし、実験的/創造的な学びの機会をいかに生み出していったのか、そのルーツにも触れながら現在に至る変遷を紐解いていきます。後半は、美術館やアートプロジェクトという枠組みに囚われず、時間をかけて耕されていく文化的土壌に必要なことは何か、広い意味でのラーニングや連携のあり方について考えます。

2023年3月18日[土]

14:00–16:30（開場13:30）

会場 大阪中之島美術館 1F ワークショップルーム

参加費 500円　**定員** 30名（要申込）

［1部］「アートの根拠を巡って」黒澤 伸

［2部］ディスカッション「アートが生み出されるまち!?」

お申し込み方法

「お名前」「参加人数」「ご所属（ご職業）」「電話番号」を明記のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。

お問い合わせ

ブレーカープロジェクト事務局

TEL：070-5046-8667

E-mail：info@breakerproject.net

URL：https://breakerproject.net/

主催：ブレーカープロジェクト実行委員会
（大阪市、NPO法人記録と表現とメディアのための組織、一般社団法人 brk collective）
協力：大阪中之島美術館
助成：一般財団法人地域創造
写真（表）：金サジ　デザイン：髙橋静香
ディレクター：雨森 信　事務局：高岩みのり

ゲストプロフィール

黒澤 伸

（公財）金沢芸術創造財団 芸術・交流アドバイザー／アーツカウンシル金沢統括ディレクター／金沢市民芸術村総合ディレクター

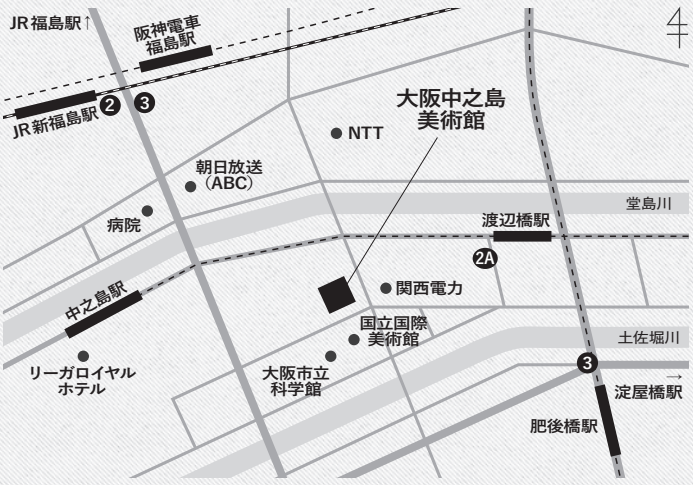
1959年生まれ。東京藝術大学大学院修了後、芸術雑誌の編集者を経て、主に美術館の現場で学芸員として美術展等の企画・制作に携わる。特にアーティスト・イン・レジデンスのような作家が直接観客に関わるプログラムやワークショップ活動を多く手がけてきた。他、美術館における音楽ライヴやパフォーマンスプログラムの制作、エデュケーションプログラムやボランティア組織の運営、地域連携活動等の実践を続け、大学ではアートマネジメントコース等で博物館学を中心にを教えている。2020年3月まで金沢21世紀美術館に副館長として在籍、以降金沢芸術創造財団事業課 芸術・交流アドバイザーの他、金沢市民芸術村総合ディレクターを務めている。

Breaker Project

大阪市が推進する文化事業として2003年より始動。浪速区・新世界からスタートし、現在は西成区を拠点に継続して活動する地域密着型のアートプロジェクトです。独自の表現手段を開拓するアーティストとともに、まちの中に創造の現場を生み出し、地域の人々と、さまざまな関わりをつくりながら、「芸術と社会の有効な関係」を再構築していくものです。現在は、2015年に廃校になった今宮小学校の校庭の一角で、美術家・きむらとしろうじんじんを中心に、小学校に残る陶芸窯や学習園、廃材、倉庫などを活用し、誰もが立ち寄れる場をつくってみる実験「作業場@旧今宮小学校」、「作業場」の取り組みをベースに、地域内外の参加者と考える多種多様な「魅力の予感」を路上に持ち出し、表現の場として活用していくことで公共空間の在り方を再考する「ちょちょヴァナ」、西成区の子どもを対象に、地域の児童館、小中学校や高校などと連携し取り組む即興音楽のプロジェクト「西成・子どもオーケストラ」、地域のリサーチをベースとした作品制作を行うレジデンス事業を展開しています。

大阪中之島美術館

大阪市北区中之島 4-3-1



- 京阪中之島線「渡辺橋駅」②A出口より徒歩約5分
- Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」③出口より徒歩約10分
- JR大阪環状線「福島駅」／JR東西線「新福島駅」②出口／阪神「福島駅」③出口より徒歩約10分
- Osaka Metro 御堂筋線／京阪本線「淀屋橋駅」⑦出口より徒歩約15分

※美術館には有料駐車場があります